

製造業における構造変化に順応する卓上製造用ロボットの開発

株式会社コスモスウェブ

経営革新計画テーマ「より人間的な製造用ロボットの開発及び販売事業」(平成 21 年 7 月 7 日承認)

- ◇所在地 仙台市青葉区栗生 5 丁目 4 - 1
- ◇代表者名 代表取締役 吉村 直幸
- ◇主な事業 電子機器の開発、設計、製造受託、
プログラム開発
- ◇設立年/資本金/従業員数
平成元年/3,000 万円/28 人
- ◇電 話 022-302-8520
- ◇F A X 022-392-0270
- ◇H P <http://www.cosmosweb.com>
- ◇メ ール hisaki.hiratsuka@cosmosweb.com



◎経営革新の取り組み内容ときっかけ

当社は受託開発が中心でプリント基板の設計、製作、電子部品の販売にて事業展開しております。

今後は受託開発だけでは販売価格、売上金額に限界があり、会社経営においての収益確保をできる構造を構築することが先決と判断しました。そこで既存事業は継続しながら、自社で価格を決定できることの最大メリットを生かすべく、自社開発の卓上製造用ロボットを使用用途別にシリーズ化させることに取り組むこととしました。ロボットの概要は以下のとおりです。

◇名称

「SPLEBO (スプレボ)」(商標登録済)

◇使用用途

半田付、ルーター、スクリュー、タンポ、
グリース、コーティング

◇特長

- ・人の手先としての道具や筆のような使い易さを提供
- ・ウィンドウズ環境下で操作可能であるため、容易にカスタマイズが可能



ウィンドウズ上での操作設定画面

◎取り組みの効果

経営革新計画の承認制度については金融機関を通じて知り、自社開発の製品を実現するために承認を目指すことにしました。今回承認をいただいたことをきっかけに、次のとおり新しい動きがありました。

1. 承認企業を対象とした県の補助金^(注)の交付決定を受けることができた
2. 海外展示会の情報入手等、県による海外進出の支援制度を活用した
3. 民間・政府系金融機関から財務強化に関する情報が入手しやすくなった
4. 低利による設備導入の検討ができるようになった
5. お取引先、お客様へのPR効果
6. 産学官連携の利用拡大への道筋（技術系の学校に様々な技術相談ができるようになった）

◎今後に向けて

昨今は非常に厳しい経済状況になっております。特に中小企業は売上・利益の確保していくことができず、雇用を確保していくことが精一杯の状況にあります。

特に製造業に関しては単純作業の高齢化や若年層の製造離れ、製造工場の人員削減、技術取得後の他職場への流出などの構造変化が予想される中、当社が開発を目指すロボットへの需要は大きいと考えます。

今後は最新技術の自社開発により試作から製品化への道筋を作り上げていくとともに、国内だけではなく国外の事業展開を図り、宮城県発信のメーカーを目指し営業展開を行っていきたいと考えております。

(注)

平成22年度は、経営革新計画承認企業様のみを対象とした補助金は実施されませんが、承認企業様も応募できる「宮城・仙台富県チャレンジ応援基金事業（助成金）」が実施される予定です。詳しくは（財）みやぎ産業振興機構HP (<http://www.joho-miyagi.or.jp/ouen>) をご覧ください

【経営革新計画に関するお問合せ先】

宮城県経済商工観光部新産業振興課（中小企業支援班）

（電 話）022-211-2723

（F A X）022-211-2729

（H P）<http://www.pref.miyagi.jp/shinsan/chusho/kakusin.htm>

（メール）shinsant@pref.miyagi.jp